

未来づくり懇談会（矢板二区）会議録

日 時：平成28年11月9日（水）

19：00～20：15

場 所：矢板二区自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策課長、
総務課長

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○中心市街地活性化について

・資料に基づき、人口推計等について説明。

Q1 「暮らし」のびのび定住補助金の年齢制限をなくせば人口が増える可能性があると思うが。

A1 若い世代が住んで子供を産み、人口増につなげることを目的に実施しているので、45歳という年齢制限を設けている。

平成30年4月より補助金額を拡充

用地購入 20万円(10万円増)

市内業者を元請とする新築 10万円(5万円増)

特定地域加算(矢板駅西地区) 20万円(新設)

新築住宅に太陽光発電設備を設置 最大10万円(新設)

※検討の結果、補助対象者の拡大（年齢要件変更等）は行わない。

5 意見交換

○1 前新通りの歩道は小学生や高齢者が歩くには危険。また電柱があるため幅が狭く傘も開けない。自転車も車道の真中を走るような状況なので改善してほしい。

Q2 矢板幼稚園西側の道路に側溝が片側にしかないため、大雨の時に長靴の半分くらいまで水が溜まってしまう。両側に側溝をつけて欲しい。

A2 以前と比べゲリラ豪雨等で一度に多くの雨が降るようになり、市内各地で同じような意見をいただいている。効果が出るような対応を検討する。

Q 3 防災行政無線が聞こえない。

A 3 聞こえないという意見は多く頂いている。一方でスピーカー近くの方からは音が大きすぎるとの意見もある。聞こえない方には、携帯のメールや電話での確認をお願いしている。

平成 29 年 5 月	防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布
平成 29 年 6 月	防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布。
平成 29 年 11 月	防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル（通話料無料）電話番号のチラシを全戸配布。
平成 30 年 1 月	防災行政無線の聞こえ方調査を実施

○ 4 塩谷町の防災無線は矢板市の半分の速さでゆっくり話している。せっかくの設備なので効果が出るように。言葉を区切って話して欲しい。

Q 5 地籍調査について、現状と見通しを伺いたい。

A 5 地籍調査は法務局備え付けの公図や登記簿と現況を一致させる作業。矢板市の進捗率は決して高くない現状にある。中心市街地は公図混乱地域で公図と現況のずれが顕著な地域。平成 29 年度については地籍調査班の職員を増員し、調査区の箇所数を増やし、予算もできるだけ増やしていきたいと考えている。

地籍調査は公図を基に現地を調査するので、公図が無い地域や現状と公図の状況がかけ離れている地域では、地籍調査を行うことが困難である。

○ 6 矢板市には冷暖房が聞いた運動施設がないので検討してほしい。

Q 7 小中学校にエアコンを設置してほしい。

A 7 小中学校には扇風機がついている。全ての小中学校にエアコンを入れると 6 億から 8 億かかるので、今後検討していきたい。

平成 30 年 3 月	矢板市公共施設再配置策定計画を策定
平成 30 年 6 月	矢板市立小中学校適正配置検討委員会を設置